

# エンビプログループの環境安全活動

持続可能社会を実現するためには充実した環境影響への管理、従業員への安全管理が不可欠です。生産工場で主に発生が想定される騒音、振動、粉塵、排水などへの環境対策設備の設置を進めることで環境汚染を防止します。従業員への安全教育、危険予知活動などの啓発活動に加え、定期的な事業所内のパトロールなど様々な活動を継続的に行い、安全管理を徹底しています。

万一の事故の発生、とりわけ機械設備やプラント、重機などを擁する工場や拠点における重大な事故、労働災害が発生した場合、従業員やそのご家族はもちろん、近隣住民の方々、取引先や投資家など、様々な関係者に影響を及ぼす可能性があります。

このような影響を及ぼす事態にならぬよう、方針に沿って安定した事業活動を行うために周囲環境や職場環境の維持改善、従業員の安全確保といった管理を最優先課題としています。エンビプログループでは外部環境への被害や人的被害の発生を回避すべく、それらを未然に防止する体制の構築に努めています。

## 安全で清潔な会社というブランドを確立する

### 01 環境安全推進委員会の活動内容、役割

当社ではグループ会社を横断して、その取り組みを行う環境安全推進委員会を設置しています。同委員会では「安全で清潔な会社というブランドを確立する。」を目的に掲げ、以下の3つの方針を立てて活動をしています。

#### 方針 01 安全で快適な職場を作る。

作業着手前の危険予知活動や定期的、計画的に行う教育訓練、安全大会、リスクアセスメントなどの安全活動を見直します。また、環境面においては作業環境測定、振動騒音測定、水質分析などを定期的に行い、継続的な改善活動を実施することで、快適な職場づくりを推進します。

#### 方針 02 情報を共有する。

環境安全推進委員会では情報の共有や共感を重視し、委員会活動を活発化させ、各社の取り組んでいる内容を報告し合い、水平展開を行います。また、労働災害や事故損傷、環境異常といった発生事象に対する原因追及や是正措置を共有し、再発・未然防止に努めると共に方向性を揃えた活動を推進します。

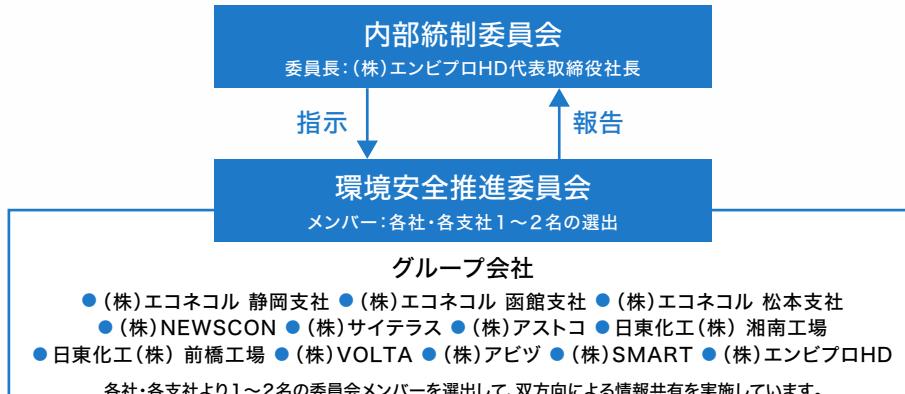
#### 方針 03 管理レベルを向上する。

ISO14001(環境)やISO45001(労働安全衛生)の認証取得をしている事業会社はもちろん、各社はマネジメントシステムを運用して従業員の安全確保・健康維持および環境保全活動を推進します。

### 環境安全推進委員会の体制

環境安全推進委員会での活動は、毎月開催される内部統制委員会(エンビプロ・ホールディングス社長を委員長とする)にてエンビプロ・ホールディングスの常勤取締役ならびにグループ会社の社長に報告を行います。示された方針や展開事項については環境安全推進委員会を通じてグループ各社の各職場に伝達されます。環境安全推進委員会はグループ各社より選任されたメンバーで構成され、委員は自社の環境改善や安全確保に関する取り組みを社長と共に積極的に推進します。

### 環境安全推進委員会の体制図



#### 活動内容 および リスク

- 労働災害リスク
- 労働環境悪化リスク
- 環境汚染リスク
- 火災リスク

- 安全教育とKYT活動の徹底
- 労働環境改善(粉じん、騒音、振動、防暑)
- 危険物、化学品の管理方法の整備と徹底
- 緊急時対応マニュアルの整備

イントロダクション

目次・編集方針

Our Concept

エンビプログループのあゆみ

エンビプログループの成長戦略

エンビプログループの事業

ESGの取り組み

環境

社会

ガバナンス

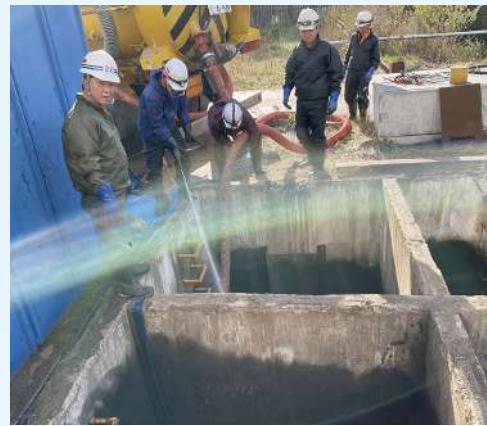
データセクション

## 02 取り組み

グループ各社で検討した内容や実施した取り組みを資料や画像、動画を使って共有することで、グループ各社は自社に必要な事項を効率良く、効果的に取り入れることができます。また、発生した課題に対して、各社の経験や知見を話し合うことで、課題解決の近道になることもあります。環境安全推進委員会では主に共有を行うことに重点を置いていますが、実業務の中では朝礼への参加、危険予知活動の徹底、計画的な教育訓練の実施、環境整備活動の強化、有効性のある是正措置の実行といった地道で泥臭い取り組みを継続することが大切であると考えています。

### グループ各社における環境活動

- 従業員による作業環境測定の実施
- 振動診断機器の運用、データ収集
- 工場内の粉塵対策の実施
- 工場内の騒音対策の実施
- 工場内の鳩対策、駆除の実施
- 工場内の照明の増設、LEDへの変更
- 消防訓練  
(避難訓練、救護訓練など)の実施
- 花壇の整備の実施
- 工場内の側溝、油水分離槽の清掃の実施
- 火災検知機、火災検知システムの導入



油水分離槽清掃



防災訓練



救護訓練

新入社員安全教育

### グループ各社における安全活動

- 工場内の防犯用カメラの設置
- 安全パトロールなど工場内巡視
- 既存設備への安全装置、安全柵、非常停止の取付
- ベトナム人技能実習生の受入と安全教育の実施
- 労働災害発生時の現場検証の実施
- 安全大会の実施
- 講師養成講座修了者による特別教育を実施
- 工場内の表示、看板、掲示物の整備
- 熱中症対策の実施



安全対策



環境整備(ベンキ作戦)



熱中症対策勉強会

粉塵・騒音対策



消防訓練の実施

イントロダクション

目次・編集方針

Our Concept

エンビプログループのあゆみ

エンビプログループの成長戦略

エンビプログループの事業

ESGの取り組み

環境

社会

ガバナンス

データセクション

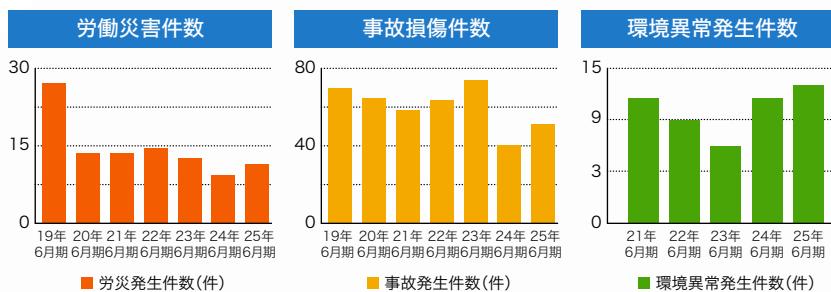
## 03 2025年6月期の実績

エンビプログループ内での発生事象の件数は環境安全活動の取り組みの強化により環境安全推進委員会が設立された後の2020年6月期の実績から減少傾向にありました。2025年6月期においては労働災害の発生件数11件と前年に比べ2件増加、事故損傷の発生件数は50件と前年に比べ11件増加、環境異常の発生件数は13件と前年に比べ2件増加と何れも件数が増加する実績となりました。当社グループの期末での従業員数は2019年6月期から2025年6月期の6年間で418人から632人と214人増加しており、1人当たりの発生率\*で捉えると減少傾向であると言えます。前年対比では8人減少、事象の発生件数が増加したこともあり、発生率も増加しています。

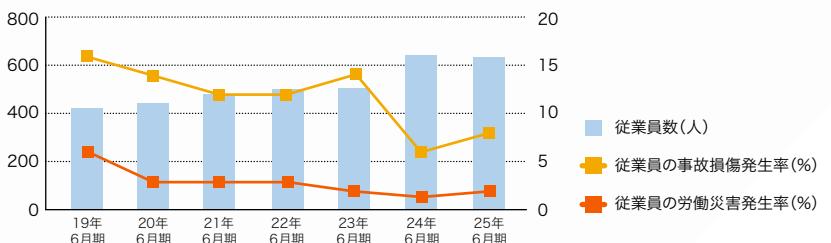
- 労働災害の件数は前年に對して増加しましたが、グループ全体で11月の発生から4月の発生までの166日間は無労災で推移しています。委員会設立から最長の期間であり、安全管理における取り組みが浸透してきています。
- 2022年6月期、2023年6月期共に回転体への巻込まれる労働災害が各2件ずつ発生しており、この回転体の事故をゼロにすることを目標に掲げて活動を行い、2024年6月期は0件、2025年6月期も通期で0件と2年連続で達成しています。
- 事故損傷については大きく減少した前年と比べると増加しましたが、2022年6月期、2023年6月期からは少ない件数での推移となります。前年同様、事象の発生した曜日を追いかけると傾向の変化が見られ、これまで週末の発生が多かったことに対し、週明けに発生が多くなる傾向が見られます。また、どのような作業中の事故が多いのか、カテゴリ別に分けたところ、2025年6月期も車両運転中が最も多く、続いて重機運転中、フォークリフト運転中という結果となりました。件数増加の一因はその他事故の発生であり、手元で使用する備品などの損傷が複数件発生しました。

## 04 今後(2026年6月期)の活動予定、KPI

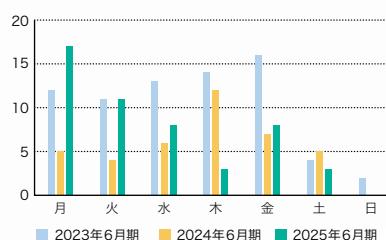
「安全で清潔な会社というブランドを確立する。」という目的と先に挙げた3つの方針から、グループ各社では一年間の活動計画を立てています。発生事象0件が最終目標ではあります、中期KPIとして、労働災害発生件数を半減(休業労災0件)、事故損傷発生件数を半減、環境異常発生件数を半減としています。2025年6月期は労働災害、事故損傷、環境異常の何れも発生件数が増加しています。発生した事象の傾向を掴み共有すること、有効性のある是正措置であるかを重要視し、類似、同様の発生事象の減少を目指します。グループ各社で計画した活動を実行し、1年でも早い中期KPIの達成に向けてエンビプログループ全体の取り組みとして推進します。



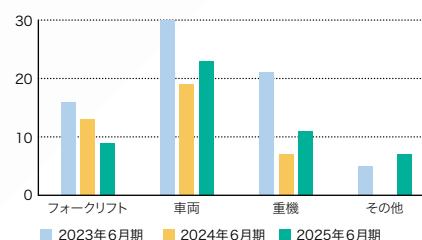
### 従業員数および1人当たりの労働災害発生率\*と事故損傷発生率\*



### 曜日別事故損傷発生件数



### カテゴリ別事故損傷発生件数



\*発生率は(発生件数÷従業員数)×100とする。

### 死亡労働災害発生について

2024年10月、構内における解体作業中に社員1名が死亡する事故が発生しました。労働基準監督署からの指導票を真摯に受け止め、今後二度とこのような事故が起きないよう、原因分析を行い作業、環境改善に努めています。安全作業標準の禁止事項、遵守事項に追加された内容の運用を徹底します。

イントロダクション

目次・編集方針

Our Concept

エンビプログループのあゆみ

エンビプログループの成長戦略

エンビプログループの事業

ESGの取り組み

環境

社会

ガバナンス

データセクション